

# 月華

## 理事長就任のご挨拶

社会福祉法人浄山会 理事長  
介護老人福祉施設つきかけ苑 施設長

稻岡 正純



平素は、社会福祉法人浄山会介護老人福祉施設つきかけ苑の運営につきましては、関係各様皆様からの御理解、御支援を頂戴致し誠に有難く厚く御礼申し上げます。

私儀、令和五年九月二日江藤英賢前理事長の突然の死去に際して、令和五年九月三日緊急理事会に於て後任として理事長を拝命致し、重責に身の引き締まる思いですが、理事長就任に当たりご挨拶を申し上げます。

最初に江藤英賢前理事長に於かれましては、平成十二年六月浄土宗大本山清淨華院大田秀三法主台下の執事長に就任され、当時、浄土宗宗祖法然上人八百年大遠忌記念事業として、地域社会に貢献するため老人ホームの建設を発願して平成十六年八月にようやく、京都では二番目となる全室個室のユニット型老人ホームを開設されました。市内の中心部でありながらも閑静な御所の東に位置し、散歩や買い物などにも便利な最適の生活環境の場所に創設下さりました。仏教の教名「共生ともいき」精神を理念に掲げて人との関わりを大切にして共に明るく楽しくやすらぎの施設運営に邁進し、又、地域社会との関わりを大切にしてボランティアの方、地元幼稚園や小学校との交流を実現されてこられました。来年度には、創立二十周年事業を江藤理事長のもとで開催出来る事を楽しみにしておりましたが、叶わぬ残念でなりません。衷心よりお悔やみ申し上げます。

私共が極めて重大な任に就く事となり、他理事及び評議員の皆様にご協力を賜り乍ら、その重責を果たしてある所存です。平成の社会福祉法人制度改革以降、社会福祉法人にはガバナンスの強化、透明性の向上、財務規律の強化、地域に於ける公共性等が求められています。引き続きこれまで培ったノウハウと経営基盤を生かし、安定性をさらに強化することと同時に革新性、創造性を両立した法人運営を進め、すべての職員が良質なサービス提供に邁進出来る組織づくりに努力してまいりますので、今後共変わらぬ御愛顧、御支援、御協力を賜りますよう心よりお願ひ申し上げます。

## ～2階職員紹介～

※写真撮影時のマスクを外しています。

日々介護に係わる職員に「自分の自慢できること！」を聞いてみました。



リーダー 木下 優太

毎朝欠かさずジョアを飲んで腸活！スッキリ!!



リーダー 木戸 桃子

仕事と子育ての両立で毎日頑張っている！



清水 久仁彦

ご入居者をお笑いで笑顔にすること！



村田 武史

痩せるためジョギングを毎日継続している！



松尾 竜馬

家のお風呂、トイレ掃除は私の日課です！



河原 直子

毎朝起きてヨガポーズで身体を整えている！



岩井 徹

主食は玄米ごはん！健康・元気が自慢です！



杖谷 洋子

毎日必ず野菜を食べて免疫力を高めています！

## レクリエーション風景



# 令和五年度 敬老表彰

本年度は五名の方々が米寿を迎える、敬老の日にお祝いをさせていただきました。八十八歳、皆さんお元気でいらっしゃいます。



## 祝 米寿



七月三十一日、浄土宗大本山清淨華院（飯田実雄法主台下）の後援のもと盂蘭盆（うらばん）法要を行いました。

盂蘭盆はサンスクリット語のウラバンナの音写語で倒懸（とうけん）逆さ吊り）という意味になります。祖靈を供養し倒懸の苦しみから救う仏教の慰靈行事で、一般には「お盆」の呼び名で馴染みが深いかと思います。

つきかげ苑では、亡くなられたご入居者や当苑と所縁のあつた方々の供養法要として毎年行っています。今年も清淨華院の大殿で密にならぬよう感染対策を講じ、三十名を超すご遺族にご参列いただきました。「もう三年になりますが、職員さんの顔を見ると母の記憶がよみがえってきます。懐かしくも気持ちが落ち着き、穏やかになりました」とご感想を頂きました。我々職員は、故人から多くの思い出とたくさんの学びを頂いております。

皆さまのご冥福をお祈りするとともに、頂いた学びを大切に活かしていきたいと気持ちが引き締まりました。

「もう三年になりますが、職員さんの顔を見ると母の記憶がよみがえってきます。懐かしくも気持ちが落ち着き、穏やかになりました」とご感想を頂きました。我々職員は、故人から多くの思い出とたくさんの学びを頂いております。

皆さまのご冥福をお祈りするとともに、頂いた学びを大切に活かしていきたいと気持ちが引き締まりました。

ト語のウラバンナの音写語で倒懸（とうけん）逆さ吊り）という意味になります。祖靈を供養し倒懸の苦しみから救う仏教の慰靈行事で、一般には「お盆」の呼び名で馴染みが深いかと思います。

つきかげ苑では、亡くなられたご入居者や当苑と所縁のあつた方々の供養法要として毎年行っています。今年も清淨華院の大殿で密にならぬよう感染対策を講じ、三十名を超すご遺族にご参列いただきました。「もう三年になりますが、職員さんの顔を見ると母の記憶がよみがえってきます。懐かしくも気持ちが落ち着き、穏やかになりました」とご感想を頂きました。我々職員は、故人から多くの思い出とたくさんの学びを頂いております。

皆さまのご冥福をお祈りするとともに、頂いた学びを大切に活かしていきたいと気持ちが引き締まりました。



## 盂蘭盆法要（関係物故者供養）

七月三十一日、浄土宗

大本山清淨華院（飯田実  
雄法主台下）の後援のも  
と盂蘭盆（うらばん）法  
要を行いました。

盂蘭盆はサンスクリッ  
ト語のウラバンナの音写  
語で倒懸（とうけん）逆  
さ吊り）という意味になります。祖靈を供養し倒  
懸の苦しみから救う仏教の慰靈行事で、一般には  
「お盆」の呼び名で馴染みが深いかと思います。

つきかげ苑では、亡くなられたご入居者や当苑と所縁のあつた方々の供養法要として毎年行っています。今年も清淨華院の大殿で密にならぬよう感染対策を講じ、三十名を超すご遺族にご参列いただきました。「もう三年になりますが、職員さんの顔を見ると母の記憶がよみがえってきます。懐かしくも気持ちが落ち着き、穏やかになりました」とご感想を頂きました。我々職員は、故人から多くの思い出とたくさんの学びを頂いております。

## 日常の回復へ

### 新入居者紹介



### つきかげ苑理念

当苑ではコロナ禍の四年間を、ご入居者、職員ともに感染者はあれど大規模な集団感染を起こすことなく過ごしてきました。然しながら、この八月中旬から九月中旬にかけて、当苑でもクラスター事象が発生してしまいました。ご家族の皆さまには手紙やホームペー

ジでお知らせしておりますので詳細は割愛いたしますが、約一ヶ月の間、施設としての機能は最低レベルとなり、事業所の体力は限界まで奪われました。ウイルスの弱毒化、五類感染症への移行に伴う規制緩和と世間ではもはや日常生活が戻ったかの様相を呈しております。しかしぬ々と感染者を増やしていくその感染力はウイルスの力が全く衰えていないことを我々に見せつけていたります。

当苑でも七割がコロナ禍以降に入居された方々とな

りました。介護職員もご家族とのコミュニケーションの機会が減ったことや外出もままならない状況の継続など、非日常下でのやるせない喪失感、また閉塞感、

孤立感を感じながら業務にあたつてまいりました。こ

の度は感染症の脅威を目の当たりにしましたが、いつ

までもこのままでいられません。日常を取り戻した

く、十月一日より各々の居室でのご面会を開始させて

いただきました。時々の状況により面会形式の変更も

ありますかと思いますが、改めて皆さまのご理解と、

さらなるご協力を賜りますようお願いいたします。ど

うぞ、つきかげ苑へ足をお運びください。職員一同お

待ちしております。



二階ふじユニットに入居された吉田光子さんは、朗らかで笑顔が絶えない方です。料理が得意で、昔は餃子をたくさん作り、親戚中に振る舞つていたそうです。

私たちとは、自立支援・自己決定・生活の継続性・個別性を大切にします。  
「共生(ともいき)」思想に基づく、利用者本位の明るく、楽しく、やすらぎのある施設づくりに努めます。

社会福祉法人 浄山会

介護老人福祉施設

**つきかげ苑**

### 要望受付

令和五年七月から九月にいただきましたご要望は、「余暇時間にテレビやビデオなどを見せてほしい」「本人が不快に思っていたり、傷んでいる服があれば持ち帰りたい」「同じ服ばかりでなく他の服も着せてほしい」「『荒城の月』などの歌をフロアで流してほしい」とご家族から四件ございました。

頂戴しておりますご要望は、ケアプランの立案や各種委員会、フロアミーティングなどで検討し、ご入居者の生活がより豊かになるように努めてまいります。

また各行政機関の要望受付窓口（市・区・国民健康保険団体連合会）及び第三者委員（地元学区民生委員など）へのご相談も活用ください。

### 編集後記

先日、人混みを避けつつ、芸術の秋を楽しみに京セラ美術館の展覧会に出かけました。鑑賞後の帰り道では青空に映える平安神宮の鳥居が目につき、その鮮やかな赤色を見て美しく紅葉したもみじを連想しました。コロナが流行する以前はご家族にも参加いただき、植物園や名所で紅葉狩りをした後、カフェでお茶とケーキを満喫するなど季節を楽しむお出かけをしていました。しかし今年もコロナウイルスの対策のため、外出はできそうにありません。人恋しくなるこの季節だからこそ、以前の様にご入居者やご家人が共に過ごせる楽しい思い出作りのお手伝いをしていく思います。